

第5回「あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」会議
結果概要

1 2020年度の主な取組状況について

構成機関・団体	取組の概要	実績等
全構成機関・団体	<ul style="list-style-type: none"> 「あいち就職氷河期世代応援宣言」及びプラットフォームに係る事業を広く周知 	<ul style="list-style-type: none"> HP、会報誌等への掲載、メルマガの配信等
愛知労働局	<ul style="list-style-type: none"> 愛知労働局就職氷河期活躍支援特設ホームページの開設 就職氷河期世代への正社員職業紹介 特定求職者雇用開発助成金、キャリアアップ助成金等各種助成金の支給 地域若者サポートステーションの取組強化 	<ul style="list-style-type: none"> 職業紹介件数：38,679件 正社員就職件数：5,293件 助成金支給実績：3,408件 助成金活用による正社員化：2,349件 新規登録者：598人 就職件数：356件 定着支援：1,945件
愛知県 (労働局)	<ul style="list-style-type: none"> 県内主要経済5団体への雇用要請 キャリアコンサルタントや臨床心理士等による個別相談を実施（あいち若者職業支援センター） 就職支援講座の実施 合同企業説明会の開催 テレワークの導入支援 	<ul style="list-style-type: none"> 6月に実施 相談件数：2,308件 修了者数：104人 就職決定者数：9人 参加者数：146人 就職決定者数：3人 専門家派遣：99件 出張相談会：10回
(福祉局)	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付への補助 市町村プラットフォームの支援事例及び課題等を収集し、好事例を横展開 就労準備支援事業及び家計改善支援事業の実施及び未実施の市に対する実施の働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> 補助額：43,693,000円 市町村プラットフォーム事例報告会の開催 就労準備支援事業 新規支援者数：24人 家計改善支援事業 相談件数：66件
(保健医療局)	<ul style="list-style-type: none"> 各市の相談窓口の現状や課題等を把握するため、市町村支援員等が各市を訪問し、ヒアリングを実施 個別支援会議等への参画 多職種専門チーム検討会議の開催（ヒアリングの中間報告、今後の支援の検討） 「ひきこもり相談対応者研修」の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ヒアリング実施：全37市 個別支援会議：2件 (2月2日及び3月26日) 開催日：11月13日 開催日：11月6日 参加者：54名

中部経済産業局	<ul style="list-style-type: none"> ・企業向けセミナー及びマッチングイベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー参加企業：62社 ・マッチングイベント参加企業：76社 参加人数：97人 内定者：3人
一般社団法人 愛知県警備業協会	<ul style="list-style-type: none"> ・就職氷河期世代のマッチングを図る面接会や企業説明会等の開催 ・実践的な技能等の習得に向けた訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・面接会：11月28日及び29日 ・短期資格等習得コース(国家資格習得)：10月23日から11月13日

2 2021年度の主な取組について

(1) 社会気運の醸成

- ・メディア、SNS、会報誌やコンビニ等あらゆるルートを通じた積極的な周知広報の実施
- ・就職氷河期世代限定求人や歓迎求人の開拓・確保
- ・就職氷河期世代の非正規雇用労働者に係る正社員転換の積極的な働きかけ

(2) 安定就職に向けた取組

- ・オンラインでの相談対応業務等に向けて機器の整備
- ・就職氷河期世代の専門窓口の拡充
- ・紹介予定派遣制度を活用した職場実習の実施
- ・基礎レベル以上のITスキル保持者を対象とした雇用型訓練の実施
- ・林業への就業を希望する者への林業就業支援研修の実施
- ・「あいちテレワークサポートセンター」を設置し、テレワークに関する相談、機械操作体験、情報提供等をワンストップで実施
- ・中小企業のテレワークを推進するためのモデルオフィスの開設

(3) 職業的自立の実現に向けた基盤整備に資する取組

- ・地域サポートステーションを活用した心理カウンセリングの実施

(4) 社会参加の実現に向けた取組

- ・社会参加に向けた支援を積極的に実施している市とハローワークの連携強化

3 意見交換発言概要

- ・就職氷河期世代の活躍支援については、待ったなしの課題であり、コロナ禍であってもできることにはしっかりと取り組んでいく。(厚生労働省人材開発統括官)
- ・ひきこもりの方に対する社会参加の実現に向けた取組として、就労へのモチベーションを高める施策が必要になると考える。(NPO法人 ICDS)
- ・この会議の仲間に入れてもらえただけでうれしい。ひきこもり支援にとってゴールとは何か、ということをおみなさんにも考えてほしい。(特定非営利法人 なでしこの会)
- ・慢性的に人手不足、後継者不足であることから、若者、女性や高齢者を含めた、幅広い人材の確保に努めていきたい。(愛知県中小企業団体中央会、一般社団法人愛知県建設業協会)